会　議　録

■　議事内容　　２０２６年度８月定例教育委員会
■　日　　時　　令和８年８月２０日（火）１３：３０～１６：００
■　場　　所　　４階会議室４－１
■　出 席 者　　教　育　長　小西　博泰
教 育 委 員　藤本真理・石原友紀・酒井秀彦・加納昌樹
事　務　局　入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
管野スポーツ振興課主幹・教育総務課　小畑

■〔会議の内容〕

１　開会あいさつ

・教　育　長

２　前回議事録の確認

（全委員一致で承認）

３　報告事項

・令和８年度主要事業及び情報・進捗状況の説明、教育委員からの意見聴取

■〔学校教育課関連〕

①「夢と希望の教育」の充実と深化（脳科学理論に基づく教育の推進、「１６か年教育」の推進）【教育課程管理】

（進捗状況）

・８月５日、不登校研修会を開催した。講師は、スクールカウンセラーの中村先生で、経験も豊富であり、「不登校の子どもを支援する際には、子どもを社会に合わせるだけでなく、社会化された状態から開放することも必要である」「不登校を減らすには、柔軟な思考を持ち合わせた子どもに育てていくことが一番大切だ」と助言いただいた。

・８月５日、幼保小の円滑な接続に向けた研修会を開催した。講師の兵庫教育大学の飯野先生から、「小学１年生の４月のカリキュラムの中に幼稚園のカリキュラムを取り入れることが求められていくため、小学校は柔軟に対応していかなければならない」と助言いただいた。また、「幼児の集中力を持続させるためには、“この遊びが終わったら終了（ワークアウト）”ではなく、“時間がきたら終了（タイムアウト）”が効果的だ」というアドバイスをいただいた。

（今後の予定）

・「おの幼稚園」の募集準備を始めている。３・４・５歳児の各定員を３０名で募集し、９月１７日に入園説明会を開催する。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

（進捗状況）

・校内サポートルーム及び教育サポートセンターの利用を夏休み期間中も実施している。

・就学援助事務、修学旅行、フリースクールの補助事業の手続きを順次進めている。

③人材育成（ミドルリーダー）と働き方改革【人的管理】

（進捗状況）

・夏休み期間を利用して、７月２７日に若手教員の研修会、８月６日・７日に臨時講師の研修会を実施した。

・１学期末における各校の超過勤務時間のデータが出揃い、現在、分析を進めているところである。

④学校教育課情報

１　市の取組

７月２５日（土）兵庫教育大学・小野市連携　サイエンス祭（エクラ）

８月　４日（火）兵庫教育大学・小野市連携　「足が速くなるコツ」（アルゴ）

２　学校の取組

〇小・中・特別支援学校修学旅行

９月　８日（火）～１０日（木）　河合中（東京方面）

９月１７日（木）～１８日（金）　河合小（奈良・京都方面）

１０月１４日（水）～１５日（木）　小野・大部・市場小（奈良・京都方面）

１０月１５日（木）～１６日（金）　小野東・大部小（奈良・京都方面）

１０月２７日（火）～２８日（水）　中番・下東条小（奈良・京都方面）

〇小学校自然学校

学校名	実施期間	利用施設	備考
小野小学校	９月２８日（月）～１０月　２日（金）	嬉野台生涯教育センター	
小野東小学校	７月　６日（月）～　７月１０日（金）	南但馬自然学校	済
河合小学校	９月１４日（月）～　９月１８日（金）	南但馬自然学校	
来住小学校	１１月１６日（月）～１１月２０日（金）	嬉野台生涯教育センター	
市場小学校	１１月１６日（月）～１１月２０日（金）	嬉野台生涯教育センター	
大部小学校	１０月　５日（月）～１０月　９日（金）	嬉野台生涯教育センター	
中番小学校	１０月　５日（月）～１０月　９日（金）	嬉野台生涯教育センター	
下東条小学校	６月１５日（月）～　６月１９日（金）	南但馬自然学校	済

※南但馬自然学校⇒　現在のところ、クマの影響なし

３　学校の状況等

○７月　４号報告０件（いじめ　０件）

○７月の不登校の状況　（　）内は前年数値

小学校７名（１５名)、中学校５１名（５８名）　合計５８名（７３名）

７月は、４号報告もなく、不登校についても、昨年度より下回る状況である。この状況を維持できるよう、引き続き、取組を進めていく。夏休みは、毎年、エクラの使い方でトラブルがあるため、先生に見回りをしていただいている。

４　全国学力・学習状況調査の結果（速報）

・各校の全国学力・学習状況調査の結果を全国値と比較し、分析した結果をスライドで説明

◆令和８年全国学力・学習状況調査の平均正答率

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
全国	６１	５６	６４	５７	４９９
兵庫県	６２	５７	６３	５８	５０６
小野市	６３	５８	６４	５９	４８８

※中学校英語の数値は、平均IRTスコア

小学校の平均正答率については、全国平均より２ポイント上回り、昨年度とほぼ同水準であった。中学校の平均正答率については、数学は全国平均より２ポイント高いが、国語は同水準、さらに英語が１１ポイント低く、昨年度より下降気味である。この状況を踏まえ、英語教育の取組を見直し、改善に向けた３か年計画の策定を指示し、現在、取組を進めている。

学力と生活習慣･自尊感情との関係を学校別に分析した結果､“あいさつをする”“ルールを守る”等、基本的な生活習慣が身に付いている学校では、学力も比較的に安定していることが明らかになった。こういった分析から、学力向上と心の育成には相関関係があること、学力不足が問題行動と深く関連すること等が確認できる。これらの分析結果は、校長会だけでなく、教頭会でも共有し、学校現場での「見える化」を進めたうえで、それを基に、リスクマネジメントやクライシスへの対応を含む教育環境の安定を図り、コミュニティスクールを活用して、新しい時代に合わせた学校改革を実施するよう指示している。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：全国学力・学習状況調査の結果で、詳細な分析を進めているとのことであるが、

例えば英語のヒアリングが弱いなど、科目の中のどの項目が課題となっているのか把握しているのか。（教育委員）

Ａ：具体的に把握している。そのため、改善に向けた３か年計画については、中学校だけでなく、小学校も含めて取り組む。（事務局）

Ｑ：全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえると、家庭においても同様に、大人の言動がぶれると子どもは何を信じたらよいのかわからなくなり、判断の基準を見失うことが考えられる。子どもが安心して成長するためには、大人が一貫した姿勢や芯を持つことが重要だと感じた。（教育委員）

Ａ：そのとおり。方針を明確に定め、教職員が共通の方向性を持って取組を進めている学校は、一定の成果が表れている。（事務局）

Ｑ：全国学力・学習状況調査の分析結果では、全中学校の家庭学習の時間が、全国平均より下回っていることも気にかかる。例えば、塾で学習している時間等は家庭学習に含まれているのか。（教育長）

Ａ：家庭学習を全くしていないわけではなく、１日１時間未満の勉強はしている。しかし、全国的に家庭学習に力を入れている中、小野市は、その流れから遅れをとっていると分析している。また、塾での学習時間は含まれていない。（事務局）

Ｑ：家庭学習だけでなく、読書も１日１時間未満という回答が出てくる状況に危機感を感じる。（教育委員）

Ａ：読書も１日１時間未満であるが、読書は学びを支える１つの手段であり、目的そのものではない。この点については、再度、共通理解を図る必要がある。
現在、部活動を実施している状況で、家庭学習や読書がこのような状況である。部活動は、一定の規則正しい生活を提供できるメリットがあるが、部活動の地域展開が進み、平日の部活動がなくなった場合、子どもたちは、放課後の時間を自身でクリエイトすることができるのか懸念している。今後は、例えば、宿題や読書に取り組むことができる場所の提供など、子どもたちにとって望ましい習慣づくりのための取組を提案していかなければならないのではないだろうか。（教育長）

Ｑ：新聞に全国学力・学習状況調査の結果が掲載されており、関連付けたり、引用したりして記述する問題の回答率が低く、無回答が多いというデータが出ていた。途中までの自分の思いや経緯なども書かず、無回答が多いのは、「間違ったら恥ずかしい」という子どもたちの思いが強いからだろうか。（教育委員）

Ａ：現時点の分析では、どの教科においても、自分の考えをまとめて書く問題で無回答が多いことが判明している。無回答の場合、例えば、英語であれば、英語で記述することができないのか、自分の考えを持つことができないのか、それとも、

問題文自体を読み取ることができないのか、というところまでは把握できない。（事務局）

Ａ：思春期特有の「間違えることで傷つきたくない」という気持ちが大きいと考えられる。学校は、結果のみを提示するだけではなく、こうした子どもたちの気持ちも汲み取りながら、指導の改善につながる具体的な方策に重点をおいた詳細な分析をしていただきたい。（教育長）

■〔教育総務課関連〕

①学校施設長寿命化対策事業

●旭丘中学校

（進捗状況）

・体育館建替工事の進捗率は６０％で、工程より１０％の遅れはあるが、８月末までに工程どおり進捗する見込みである。
工事内容：屋根工事、アリーナ内部壁工事、配管工事、電気設備工事

●河合中学校

（進捗状況）

・仮設校舎賃貸借については、７月末の進捗率は８５％で、順調に進んでいる。
・校舎建設工事請負契約
６月４日入札落札　１，４０５，８００，０００円
株式会社赤鹿建設　令和８年６月５日～令和９年１１月３０日
→７月：河合地区区長へ工事説明、学校周辺地域住民に挨拶回り
・河合中学校仮設校舎移転業務委託
５月２５日入札落札　８８０，０００円
株式会社サカイ引越センター　加古川支店
→８月２０日～２１日：仮設校舎へ引っ越し
・格技場トイレ改修工事
６月２９日入札落札　７，９９７，０００円
梅田工務店株式会社

②ＧＩＧＡスクール端末更新事業（ＧＩＧＡスクール構想第２期「NEXT GIGA」）

（進捗状況）

・７月２１日～８月２６日：各校へ納品及び更新作業

（今後の予定）

・１２月：旧端末の廃棄・回収

③学校施設適正化推進事業（学校施設長寿命化計画の改定、適正規模・適正配置に関する基本方針の策定）

（進捗状況）

・７月２９日、第１回検討委員会を開催した。

④教育総務課情報

１　学校施設工事関係

○小野中学校格技場空調設備整備工事設計・監理業務委託

１月３０日入札不調、３月９日入札不調、３月２４日随意契約

有限会社　ゼン建築設計　２，４５３，０００円

→３月３１日：現地調査、６月９日：設計内容及び工程の学校説明

○小野中学校格技場空調設備整備工事

７月１７日入札不調、随意契約

小林設備工業　有限会社　１６，３９０，０００円

○小野東小学校空調更新工事

５月８日入札落札　９８，４５０，０００円

銭屋電機　株式会社

→６月３０日：学校への工程・仮設計画の説明、７月２１日：工事着手

８月末：完成予定

○来住小・大部小学校空調更新工事設計業務

→６月２９日：入札不調、８月下旬：再入札

○来住小・下東条小学校照明ＬＥＤ化工事

７月８日入札落札　５７，４３１，０００円

池沢通信建設　株式会社

→７月１６日：初回打合せ、７月３１日：学校への工程・仮設計画の説明

○市立小中学校照明ＬＥＤ化工事設計業務

対象校：小野小、河合小、市場小、大部小、中番小、小野中

６月２９日入札落札　９，９００，０００円

藤野一級建築設計事務所

→７月８日：初回打合せ、７月２３日～３０日：学校現地調査

○市立河合小学校放送室デスクアンプ更新工事

令和８年５月に発生した落雷の影響（雷突入電流）により、放送設備が故障し、校内放送ができず、チャイムが自動で作動しない状態となり、更新工事を行う。

→８月６日入札落札　３，４５４，０００円

有限会社　ハタヤ電設

２　通学路点検

日　時：８月３日（月）
対　象：来住小・市場小校区、小野南中学校区
参加者：兵庫県加東土木事務所、兵庫県小野警察署、学校、市道路河川課
　　市くらし安心グループ、教育総務課
結　果：来住小６か所、市場小２か所、小野南中６か所、
　　その他危険箇所３か所を点検
　　交差点の赤色舗装、グリーンベルト舗装、注意喚起看板の設置などを行う。

３　第１回学校適正規模・適正配置検討委員会（別紙詳細）

◆学校適正規模・適正配置の基本方針の策定にあたって

【目的】

・本市の児童生徒数は、今後も減少していく見込みであり、老朽化が進む学校施設への対応とあわせて「将来の学校のあり方」を検討することが求められている。
・さらなる少子化が見込まれる中で、児童生徒の教育環境の改善を最優先の課題と捉え、学校規模の適正化に向けた基準や進め方を示す「学校適正規模・適正配置に関する基本方針（案)」を策定する。

【スケジュール】

時　期	項　目	内　容
令和８年　７月	第１回検討委員会	・現状と課題、学校教育の在り方 ・アンケートの調査内容 ・検討の視点、プロセス
９月	保護者アンケート 教職員アンケート	・ＷＥＢでの調査 （子ども約５，０００人の保護者）
１１月	第２回検討委員会	・アンケート結果 ・適正規模、適正配置の検討結果
令和９年１月～２月	パブリックコメント	・基本方針素案について意見募集
３月	第３回検討委員会	・パブリックコメントの結果、基本方針の策定
３月末	基本方針公表（予定）	・大きな考え方、方向性の提示 ※具体的な検討は、令和９年４月以降に実施

◆学校適正規模・適正配置の基本方針後の取組（令和９年度以降）

・学校規模の分析：基本方針の適正規模を数年後に下回る状況の学校

・「地域の学校のあり方を考える会（仮称)」を設置し、学校・保護者・地域の方とともに検討を進める

◆適正規模・適正配置の検討にあたって考慮（優先）すべき視点
①子どもたちの教育環境の維持・向上
②当事者である保護者の意見
※一方で、将来の児童生徒数を見据えた学校規模の適正化を行い、学校施設の改修サイクルを持続可能なものとし、効率的に新しい教育環境を整備していくという視点も必要

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査は、どのように保護者へ配布されるのか。（教育委員）

Ａ：小学校と中学校の保護者には、連絡ツールのスクリレで配信し、幼稚園・保育園（所)・こども園については､用紙を郵送し､各園から保護者へ配布していただく。また、このアンケート調査は９月の広報にも掲載し、その他の保護者には、広報を通じて参加していただく形式をとる。（事務局）

Ｑ：学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査は、意見をきちんと聞こうとしている印象があり、内容も良いと感じた。（教育委員）

Ｑ：ＱＲコードを読み取り、学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査に参加してみたが、チェック形式で回答しやすく、複数選択できるところも回答者に配慮されている。また、アンケート依頼文に示された小規模校のメリット・デメリットの説明が、わかりやすく親切な内容であった。（教育委員）

Ａ：アンケート調査については、できるだけ、回答しやすいように設定した。回答者の状況に応じて､該当しない項目は自動的に非表示となるようにも設定している。依頼文のメリット・デメリットの説明については、文部科学省の例を参考に、わかりやすい表現に整理し、シンプルにまとめている。（事務局）

Ｑ：学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査の中で、小学生の徒歩の通学距離・時間の選択肢に「３．０ｋｍ（徒歩約６０分）以内」とあるが、実際に該当する子どもがいるのか（教育委員）

Ａ：小野市では、３ｋｍ以上の場合は、電車やバスによる通学としているため、該当する児童はいないが、選択肢として設定している。（事務局）

■〔いきいき社会創造課関連〕

①図書館開設３０周年記念事業

（進捗状況）

・８月１１日、「夏のこわ～いお話会」を開催した。事前申込なしであったが、３９名の参加があり、とても盛り上がったと聞いている。
・１０月２７日～１１月９日の「秋の読書週間」に向けて、様々なイベントを協議している。

②地域づくり協議会事業

（今後の予定）

・各地区コミセンまつり等

９月　５日、　６日	おのふれあいまつり
１０月２４日、２５日	きすみの祭り
１０月２４日、２５日	いちばふれあいの祭典
１０月３１日、１１月１日	下東条地区文化祭
１１月　１日	小野陣屋まつり
１１月　７日、　８日	おおべふれあいのつどい
１１月１４日、１５日	かわいフェスタ

③いきいき社会創造課情報

〇第１回成人式実行委員会

日　　時：７月２７日（月）１９時００分～２１時００分
会議内容：自己紹介、成人式の概要説明、実行委員会について
実行委員：１４名（小野中出身３名、河合中出身４名、小野南中出身２名、旭丘中出身５名）
次回会議：８月１０日（月）１９時００分～

〇第３８回上田三四二記念　小野市短歌フォーラム

日　　時：令和９年５月８日（土）１３時００分～
場　　所：小野市うるおい交流館　エクラ
作品募集：１１月１０日（火）締切
変 更 点：①一般の部の投稿料を無料とする。
②全投稿者の作品集制作及び配布は行わず、受賞作品集を制作し、入選者に進呈。
③一般の部の１席～５席の副賞に賞金を贈呈。学生の部の副賞は図書カードを贈呈。

〇第５１回東はりまコーラス大会

日　　時：１０月１８日（日）１３時３０分～１６時３０分
場　　所：小野市うるおい交流館　エクラ
出演団体：Con La Musica 夢詩歌、小野市民合唱団 他

○第５１回小野市美術展

期　　間：１１月１２日（木）～１１月１５日（日）

場　　所：小野市うるおい交流館　エクラ

事前申込：９月１０日（木）～１０月９日（金）※作品応募には事前申込が必要

○図書館　こわ～いおはなし会　※事前申込不要

日　　時：８月１１日（火・祝）１４時００分～１４時４５分

受付開始：１３時４５分～

内　　容：絵本や紙芝居は使わず、耳だけで聞いて楽しむストーリーテリングのおはなし会

場　　所：２階　研修室１（カーテンを閉め切って実施）

対　　象：小学生（話を聞ける子は未就学児でもＯＫ）

参加者数：３９人

○図書館　認知症関連展示　※認知症月間にあわせて開催

期　　間：９月１日（火）～９月２３日（水）

内　　容：地域包括支援センターが推薦する本を含め、認知症理解、予防、介護などの本、１００冊を展示

○好古館　企画展「子どものくらし大図鑑」

期　　間：６月６日（土）～９月２３日（水・祝）

内　　容：昭和１００年を記念して、激動の時代の子どものくらしの変化を関連資料や写真で振り返る展示

○コミセン下東条　下東条地区夏まつり

日　　時：８月１日（土）１９時００分～２１時１５分

場　　所：市民研修センター運動場

来 場 者：約２，６００人

○サマースクール（図書館、好古館、コミセン６館）

期　　間：７月２１日（火）～８月２１日（金）

対 象 者：市内在住の小学生・中学生

④行事一覧（既に終了した事業を含む）　※別紙詳細

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：図書館で開催した「こわ～いおはなし会」の話し手は、誰だったのか。（教育委員）

Ａ：図書館の職員である。職員は、本を読むのではなく、内容を暗記して語る形式で

実施し、複数のおはなしを交代で担当した。（事務局）

■〔スポーツ振興課関連〕

①学校保健体育事業の推進

（進捗状況）

・７月２３日～２９日、兵庫県中学校総合体育大会が開催された。その結果、小野中学校の柔道部、小野中学校の陸上部１名、旭丘中学校の陸上部２名が、近畿大会及び全国大会に出場している。

→近畿大会結果

【柔　　道】小野中（女子団体：準優勝　女子個人：準優勝）

【陸上競技】小野中（男子１年１，５００ｍ：準優勝）

・ひまわりカードによる朝食摂取状況調査結果

	連続朝食摂取率		バランスの良い朝食摂取率	
	今回	前年同時期	今回	前年同時期
小学校	９５．２％	９６．２％	６７．９％	６４．７％
中学校	９０．０％	９１．７％	５１．１％	５５．２％
幼稚園	９２．９％	９６．２％	７５．０％	６１．５％
保育園（所）・こども園	８９．３％	８９．３％	５３．７％	５５．５％

※ 　　昨年度同時期より、ダウン

→５月に開催した小野市学校食育推進委員会で検討を行い、今回のひまわりカードに目標設定欄を設ける等の工夫をしたが、結果として、あまり芳しくなかった。引き続き改善を図り、目標値の達成に向けて啓発を進めていく。

（今後の予定）

・８月下旬　小学校「おの体力検定（水泳検定）」結果集計

・７月１９日～８月２６日、第１２回おのっこ産クッキングコンテスト募集を行っており、９月にレシピの検討会及び選考を実施する。

②第１３回小野ハーフマラソン２０２６

（エントリー状況）８月３日現在

	令和８年度	令和７年度
ハーフ男子	３，１４２	２，２４１
ハーフ女子	９６２	６５９
５ｋｍ男子	２３１	１８５
５ｋｍ女子	２３０	１７１

１．５ｋｍ小学４～６年	１６７	１２２
１．５ｋｍ小学１～３年	１８３	１４２
合　計	４，９１５	３，５２０
申込率	８１．９％	５８．７％

（進捗状況）

・８月１７日１１時の時点で、ハーフ男子の部のみ、申込を締め切っている。その他の部においては、引き続き申込を受け付けている。

③スポーツ振興課情報

１　学校保健体育

○全国中学校総合体育大会

【柔　　道】小野中（女子団体、個人男子１名・女子１名）
開催日：８月１８日（火）～２１日（金）岡山県

【陸上競技】旭丘中（８００ｍ　１名）
開催日：８月２０日（木）～２３日（日）山口県

○小野市中学校新人体育大会

日　時：９月１９日（土）
※予備日：９月２０日（日）、２１日（月・祝）
※陸上競技は井上記念小野市陸上競技大会と兼ねて開催（１０月１２日）

場　所：アルゴ、アクト、アレオ、小野中学校等（小野市内公共施設）

主　催：小野市中学校体育連盟

２　社会体育

○２０２６ソフトバレーボール大会　ｉｎ　ＯＮＯ

日　時：９月１３日（日）９時００分開会

場　所：小野市総合体育館アルゴ　アリーナ

主　催：小野市スポーツ推進委員会

３　今後の予定

○第２０回アジア競技大会出場選手市長表敬訪問

・田中希実選手（小野南中出身）８月２６日（水）来庁
【出場種目】陸上競技　女子　１，５００ｍ（９月２６日）
５，０００ｍ（９月２８日）
１０，０００ｍ（９月２４日）

・大坂谷明里選手（小野中出身）９月８日（火）来庁
【出場種目】陸上競技　女子　棒高跳（９月２５日）

・藤原崇太郎選手（小野中出身）日程調整合わず
【出場種目】柔道競技　男子　８１ｋｇ級（１０月１日）

〇小野市内中学校体育祭・幼稚園運動会

・小野中学校　　１０月３日（土）
・小野南中学校　１０月３日（土）
・旭丘中学校　　１０月３日（土）
・おの幼稚園　　１０月２日（金）

〇第２４回井上記念陸上競技大会兼小野市中学校新人体育大会
兼第５３回小野市小学生陸上競技大会

日　時：１０月１２日（月・祝）９時００分開会
場　所：小野希望の丘陸上競技場アレオ
主　催：小野市陸上競技協会、小野市小学校体育研究会、小野市中学校体育連盟

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Ｑ：保育園（所）・こども園の朝食摂取率が、低い傾向にあるが、例えば、朝が早く、家庭で朝食を食べることができなかった子どもに対し、園で朝食を提供するようなサービスを実施している園はあるのか。（教育委員）

Ａ：阪神地区では、園児への朝食や夕食提供などといったサービスを展開している園があり、年々増えてきていると聞いているが、小野市ではそういったサービスは実施していない。（教育長）

Ｑ：バランスの良い朝食摂取率の幼稚園の数値が、昨年度より大幅に上昇したのは、おの幼稚園で実施された川島隆太先生の特別講演会の影響によるものなのか。（教育委員）

Ａ：その影響はあると考えている。（事務局）

Ｑ：ひまわりカードについては、これまで定例教育委員会でも改善策を検討しており、デザインの変更やワンプレート朝食例の記載など工夫を重ねてきたと思うが、今回はどのような内容になっているのか。（事務局）

Ａ：ひまわりカードのぬりえのデザインは３、４年前に変更し、現在も継続して使用している。啓発チラシについては、これまで保護者向けに作成していたものを、子どもたちの意識向上を図るため、低学年用と高学年用に分けた子ども向けの学習チラシとして新たに作成している。（事務局）

Ｑ：今回の学習チラシは、朝食のタイプ分けが記載されている。以前は朝食摂取率調査結果のグラフが記載されていたように思う。（教育委員）

Ａ：以前は、朝食摂取率調査結果のグラフや、朝食と運動・体力テストなどの関連性を文章で示していた。今回は、子どもたちがより理解しやすいよう、栄養教諭に作成していただき、自分の朝食をタイプ分けで把握し、少しずつステップアップできるよう工夫した形で啓発を行っている。（事務局）

Ｑ：オーストリアでは、朝食も大事であるが、昼食をしっかり食べる習慣があり、夕食は軽めであるものの、家族全員で一緒に食事をするということが義務であり、当たり前であった。家族がそろって朝食を取るということも、バランスの良い朝食につながる要因の１つなのではないかと考える。（教育委員）

Ｑ：テレビでは、学生に亜鉛の有用性を説明し、学生がその知識を得た結果、亜鉛を含んだ食品の摂取率が向上した事例が紹介されていた。同様に、栄養素が自分の体に良いと理解されれば、改善につながる可能性がある。「朝からバランスの良い食事を考えることは負担である」「時間がない」などといった反対意見もあると思うが、継続して伝えていくことも必要だと考える。（教育委員）

Ａ：日本でも、家族全員で食事をする文化が存在していた。しかし、現代では、保温機能付き炊飯器などの電化製品の普及、共働き世帯の増加、核家族化の進行により、家族で一緒に食事をする習慣が薄れてきているのではないかと考えられる。（教育長）

Ａ：飽食の時代でもあり、しっかり食べなくても満腹感が得られる状況があることも朝食摂取率が低下している要因の１つだと思う。（事務局）

※：保護者だけでなく子ども自身が「食」に関する関心や知識を持つことが、朝食習慣の向上につながる可能性がある。今後もこうした啓発を続けていくことが重要である。（教育長）

Ｑ：朝食摂取率、体力テストの結果、全国学力・学習状況調査の結果をリンクさせ、バランスの良い朝食を摂取している子どもは、学力・体力ともに高いことをアピールすることで、食育の重要性を高めることができるのではないだろうか。（教育委員）

Ａ：川島隆太先生が示す研究データには、朝食をきちんと取っている子どもの方が、正答率が高いということが明らかになっており、保護者にも周知している。また、朝食だけでなく、十分な睡眠を取れている子どもの方が、学力テストの結果が良いという結果も出ている。（事務局）

Ａ：体力テストについても同様で、川島隆太先生が示す研究データには、朝食をきちんと取っている子どもの方が、体力が高いということが示されている。以前の啓発チラシでは、これらの内容を掲載し、保護者に伝えてきたが、小野市の体力テストの結果と直接結びつけて分析したことはない。（事務局）

※：確かに川島隆太教授の研究結果は説得力があるが、保護者にとっては「遠い世界のデータ」として受け止められている感じがする。そのため、より身近な小野市

のデータを用いて分析結果を示すことで、説得力が上がり、保護者や子どもたちにも響くのではないだろうか。（教育委員）

Ａ：小野市は、川島隆太教授の脳科学理論を基に教育を進めてきた経緯があり、他市より平素の生活についての意識が高い。しかし、本当にその取組が成果につながっているのかを検証する必要がある。もし、十分に成果が出ていないのであれば、その要因を分析し、子どもたちへの効果的な啓発につなげていくことが、今後の課題である。（教育長）

４　議案

<u>議案第１３号　あお陶遊館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について（いきいき社会創造課）</u>

当該規則の条文中の字句が現状に合わない状態となっていることから、字句の修正及び追加を行うとともに、新たな教室やコースを創設するために、規則の一部を改正する。（別紙詳細）

（議案第１３号において、全委員一致で承認）

５　次回定例教育委員会予定

９月２９日（火）１３時３０分～　４階会議室４－１

１０月２６日（月）１３時３０分～　４階会議室４－１

６　閉会あいさつ　教育長